

環境保全評価チェックシート

(様式-A)
2017.7.22改訂

太枠線内をご記入、回答をお願いします。提出内容に変更が生じた場合、または納入品(評価対象製品群)に関し材料、工程などに変更が生じた場合は、再提出をお願いします。

《依頼元記入欄》		《お取引先様ご記入欄》	
送付日		提出日/再提出日	
会社コード		会社名	
納入品名(評価対象製品群)		所在地	
OKIグループ物品番号		納入品名(評価対象製品群)	
窓口部門名		OKIグループ物品番号	
窓口部門担当者名		部署名	
電話番号		評価責任者氏名(役職)	
Eメールアドレス		電話番号	
依頼元部門名(担当者名)		FAX番号	
依頼元Eメールアドレス		評価責任者Eメールアドレス	

1. 環境マネジメントシステムの構築状況

回答欄(太枠線内)の該当する黄色セル部分に"1"を記入してください。

項目	確認内容	評価		取得情報および取得活動情報		
		はい	いいえ	認証取得日	認証機関	認証番号
ISO14001認証取得	納入品生産拠点(製造サイト)において認証取得済みである。	はい	いいえ			
	納入品生産拠点(製造サイト)において取得活動中である。	はい	いいえ	審査予定日	認証機関	
労働安全衛生法(SDS提供、ラベル表示)やQMS、その他のマネジメントシステムの構築	納入品生産拠点(製造サイト)において構築済みである。	はい	いいえ	登録日	登録機関	登録番号
	納入品生産拠点(製造サイト)において構築活動中である。	はい	いいえ	審査予定日	登録機関	

評価点数(1項) 0 / 100

2. 製品含有化学物質管理システムの構築状況

回答欄(太枠線内)の該当する黄色セル部分に"1"を記入してください。

項目	確認内容	評価		構築情報	
		はい	いいえ	構築完了日	構築予定時期
JAMPの「製品含有化学物質管理ガイドライン」に基づく管理システムの構築	構築済みである	はい	いいえ		
	構築活動中である	はい	いいえ		
その他の管理システムの構築	構築済みである	はい	いいえ	構築完了日	
	構築活動中である	はい	いいえ		構築予定時期

評価点数(2項) 0 / 100

3. 環境負荷低減への取り組み状況

取り組み内容に対し、回答欄(太枠線内)の黄色セル「はい/いいえ/対象外」のいずれかに"1"を記入して下さい。

項目	取り組み内容	重点項目	回答欄			記事
			はい	いいえ	対象外	
資源循環	資源の減量 再資源化	リデュース、リユース、リサイクル(3R)の省資源化を考慮した設計や製造を行っている。 製品に使用する部品やユニット類、材料などの標準化を図っている。 はんだ、溶剤、塗料など投入資源の最小化に取り組んでいる。 廃棄物発生量の削減やリサイクルなどに取り組んでいる。 廃棄処分時の注意事項を記載している、または提示することができる。				
	分別・分解性	電池類を使用している場合、容易に取り外せる構造でかつ、法令に基づいた適切な表示を行っている。または電池類使用基準を制定し、運用が図られている。 セキュリティなど必要な部分を除き、製品を分解するために特殊な工具 [※] を必要としない。 特別な構造物部分を除き、20Kg以下のパーツに分解される構造としている。 再使用可能な部品や再生可能な部材の分解・分別が容易な構造としている。 分別・分解時の注意や特記事項を説明書などに記載している。	◎			
	素材分別 選別性	プラスチックならびにゴム材料の部品に対し、JISに準拠した材料名記号を表示している。 機能上やむを得ない場合を除き、プラスチック材料の部品に対し、表面に塗装やめっき、ラベルの貼付けを行っていない。 使用プラスチック材料の統一が図られている。または使用材料の基準を制定している。 ハロゲンを含まないプラスチック材料の使用を優先している。 強化ガラスなどのフィラーを混入した複合材の使用を制限している。				
	包装材の環境 負荷低減	繰り返し使用可能な構造で、回収、再利用、リサイクルなど、に配慮している。 ダンボールなどに再生材料を使用している。 包装の簡易化、小形化に配慮し、包装材の省資源化を図っている。 法令に基づいた材料名記号表示を行っている。 廃棄処理時にダイオキシンなどの発生が予想される物質を含有していない。	◎			

※ドライバー、ニッパ、プライヤ、はんだこて、レンチ、スパナ、カッタ、等汎用的な工具以外を言う。

評価点数(3.1項) 資源循環 0 / 100

3.2 地球温暖化防止への取り組み状況

取り組み内容に対し、回答欄(太枠線内)の黄色セル「はい/いいえ/対象外」のいずれかに"1"を記入して下さい。

項目	取り組み内容	重点項目	回答欄			記事
			はい	いいえ	法規制対象外	
地球温暖化 防止	事業活動による 省エネルギー活動	エネルギーの使用の合理化に関する法令に基づく特定事業者、または省エネルギーに関する現地法令の適用を受ける海外事業者は、法令要求に基づく管理活動を実施している(管理体制の構築、責任者の配置、取り組み方針策定、実施結果の評価と方針の見直し、等)。 上記以外の事業者:エネルギーの使用の合理化への取り組み方針策定や体制の構築、実行評価、必要に応じた変更など、省エネルギー活動を実施している。 エネルギーの使用の合理化への取組を、サプライチェーンに対しても要請している。	◎			法規制対象外の場合は、「法規制対象外」の欄に1を記入して下さい。
	製品の低消費電力 化	省エネルギー法、国際エネルギースタープログラムなどの対象となる製品は、各々の基準に適合している。 ISO14001や9001など製品の省エネルギー化に取り組むためのマネジメントシステムを構築し実践している。	◎			

評価点数(3.2項) 地球温暖化防止 0 / 100

3.3 生物多様性保全への取り組み状況

取り組み内容に対し、回答欄(太枠線内)の黄色セル「はい/いいえ」のいずれかに"1"を記入して下さい。

項目	取り組み内容	回答欄		記事
		はい	いいえ	
生物多様性 保全	紙や水などの調達			
	生物多様性保全			

評価点数(3.3項) 生物多様性保全 0 / 100